

環境人づくり大賞に加藤建設

環境省は、優れた環境保全活動に取り組む社員の育成に力を入れている企業や独立行政法人などを表彰する16年度の「環境人づくり大賞」の受賞企業を決めた。昨年9月15日から11月17日までに応募があった全57件の中から、建設関係では最優秀賞に当たる大賞（環境大臣賞）に加藤建設（愛知県蟹江町、加藤徹社長）を選んだ。表彰式は5月22日に東京・霞が関の同省第1会議室で開く。

加藤建設は、自社の目標に掲げる自然と共生した建設業を目指す社員教育の一環として、日本生態系協会が運用している自然の保全・再生に関する技術者資格「ビオトープ管理士」の取得を奨励していることなどが評価された。現時点で社員の約半数近くの約100人が同資格を取得しているという。

加藤建設のほかに受賞した建設関係の企業などは次の通り。

【優秀賞】ダイキン工業滋賀製作所

【奨励賞】三井住友建設▷積水化学工業滋賀栗東工場▷パナホーム▷建設技術研究所▽住友林業▷水資源機構▷大成建設▷セリタ建設（佐賀県武雄市、芹田正登志代表取締役）。

環境省

建通新聞

中部

業界・行政ニユース

環境・人づくり企業大賞

加藤建設が環境大臣賞受賞

加藤建設(蟹江町、加人づくり企業大賞2011藤徹社長)は、環境省と6で、環境大臣賞を受賞環境人材育成コンソーシアムが主催する、環境・受賞理由は、ビオトープ

ど地域と連携した取り組みを行っていることなどが挙げられた。

管理士資格の取得を軸に自然と共生した建設業を旨とした教育を行っていることや、エコミーティングをはじめとする、社員の環境意識醸成に積極的に取り組んでいること、自然観察会の実施などの計57件の応募があった。

環境省らが主催することの取り組みは、自社社員を対象として優良な環境人材育成に取り組む企業を表彰するもの。今回の企画には、大企業から38件、中小企業などから19件の計57件の応募があった。